

事業の概要

A 社会経済史・経営史関係

- (1) 当文庫の紀要である『三井文庫論叢』の第44号（2010年）を刊行した。
- (2) 上記の『三井文庫論叢』掲載論文関係の研究のほかに、経済史・経営史にかかわる研究活動として、三井文庫主催による研究会の開催、外部研究会等での発表、関係諸方面における講演などを行った（詳細は後掲の「事業の内容」において記載）。
- (3) 資料保存のため、三井合名会社資料のマイクロフィルム撮影を行った。
- (4) 「三井文庫史料叢書」（所蔵貴重史料翻刻刊行シリーズ）の手始めとなる大坂両替店『聞書』第一巻分について、初校の校正作業を進めた。
- (5) 利用者の便宜を図るため、所蔵資料分類目録の整理を引き続き進めた。
- (6) 北三井家寄贈フィルムのうち、6本をDVD化した。
- (7) 三井合名会社資料の第2回分を公開した。
- (8) 三井住友銀行より「旧三井銀行調査部資料」を受け入れた（寄託）。三井不動産より戦前期三井財閥の厚生施設関係資料等を受け入れた（寄贈）。
- (9) 米国国立公文書館が所蔵する三井物産在米支店関係資料について、調査、複写収集、目録整備を行った。
- (10) 戦後三井グループ史関連のヒアリング計画の準備を進めた。
- (11) 国内外の関係諸機関からの見学を受け入れた。また、企業史料協議会が主催する研修会・見学会等に参加した。
- (12) 日仏経営史会議「流通・市場・消費者」（国立パリ社会科学高等研究院との共催で2007年、2008年に開催）の成果報告集の編集作業を進めた。
- (13) 科学研究費補助金（2件）の交付を受け、研究を進めた。

B 文化史関係

- (1) 特別展図録の発行で編集および執筆の協力をした。
 - 特別展図録『奈良の古寺と仏像～會津八一のうたにのせて～』（日本経済新聞社発行）
- (2) 展覧会図録の作成をした。
 - 特別展図録『江戸を開いた天下人 徳川家康の遺愛品』（三井記念美術館4月発行）
 - 特別展図録『円山応挙 一空間の創造』（三井記念美術館10月発行）
 - 図録『室町三井家の名品 卯花塙と箱根松の茶屋』（三井記念美術館12月発行）
- (3) 三井記念美術館美術文化史論集第4号を刊行した。

- (4) 東洋陶磁学会、日本陶磁協会、日本近世絵画研究会などの学会・研究会を当館レクチャールームで開催し、研究発表を行った。
- (5) 文化史資料の整理・調査・研究を行い、論文・解説の執筆、研究誌への投稿、各種学会・シンポジウムへの出席、他館・個人所蔵家等への資料調査などの活動を行った。
- (6) 他館における展覧会等に所蔵文化史資料を出品し学術文化の振興に寄与した。
- (7) 重要文化財東福門院入内図屏風の修理を、国と東京都の補助金の交付を受けて、本年度を最後に3カ年間の継続事業として行った。
- (8) NPO法人京都文化協会より、同協会と株式会社キヤノンによる「文化財未来継承プロジェクト（『綴プロジェクト』）」の一環として、当館所蔵の国宝雪松図屏風を高精細デジタル画像により複製を製作したい旨依頼があった。当館では、その趣旨に賛同してこれを受け入れ、複製製作のための撮影を12月4・5日に行った。なお、複製の屏風は、同協会の今年度事業として当館に寄贈され、その後は同協会の教育普及活動に利用される予定。

C 三井記念美術館関係

- (1) 今年度は下記の展覧会を開催するが、平成22年4月1日から平成23年3月11日までは合計231,282人が入館した。なお、平成17年10月8日の開館以降の累計入館者は957,346人となった。

- ①「三井家のおひなさま

新規寄贈品展示 伊皿子三井家のひな人形・室町三井家のやきもの」

(平成22年4月1日～4月4日) 入館者数 1,897人

- ②開館5周年記念特別展「江戸を開いた天下人 徳川家康の遺愛品」

(平成22年4月14日～6月20日) 入館者数 30,546人

- ③開館5周年記念特別展

平城遷都1300年記念「奈良の古寺と仏像～會津八一のうたにのせて～」

(平成22年7月7日～9月20日) 入館者数102,533人

- ④開館5周年記念特別展「円山応挙 一空間の創造」

(平成22年10月9日～11月28日) 入館者数 60,097人

- ⑤「室町三井家の名品 卯花塙と箱根松の茶屋」

(平成22年12月3日～平成23年1月29日) 入館者数 21,328人

- ⑥「三井家のおひなさま / 特別展示 人形文化の華「創業三百年 吉徳これくしょんの名品」

(平成23年2月10日～3月11日) 入館者数 14,881人

*なお、3月11日の東日本大震災により、3月12日以降4月3日までの展示を中止した。

(2) 開館5周年記念事業に関する特記事項

①中核的特別展「平城遷都1300年記念 奈良の古寺と仏像～會津八一のうたにのせて～」
において

ア. 三井住友銀行、三井不動産、三井物産、QUICK、近畿日本鉄道の5社から協賛を得た。

イ. 7月28日17:30～20:00 日経ホールにおいて特別講演会を実施した。(参加者数524人)

第一部「仏像の白毫相をめぐって」 三井記念美術館 館長 清水眞澄

第二部「みほとけと心の時代」 興福寺 貫首 多川俊映氏

ウ. 賛助会社向け謝恩企画として、8月2日(月)の休館日を特別開館し、社員および家族に展覧会をゆっくり鑑賞する機会を提供した。(参加者数437人)

エ. NHK「日曜美術館」の本編番組として、「広目天のまなざし～會津八一の愛した奈良の仏」が7月18日、25日、8月8日の3日間放送された。

②当館所蔵の旧金剛宗家伝来の54面の能面を紹介する映像プログラムの新規制作等を実施するため、協賛会社から特別協賛(1口10万円)の協力を得た。平成22年度中に全体の構成を決め、平成23年度9月に完成予定。

③開館5周年の謝恩パーティーを10月8日日本橋三越本店特別食堂において開催した。

(3) 各展覧会に合わせたワークショップを開催したほか、小・中学校の教職員見学会、学校への出張講座を実施するなど小中学生・高校大学生等を対象とする教育普及活動に積極的に取り組んだ。

(4) 講演会・土曜講座・展示解説など一般客を対象とした普及活動を行った。また、中央区の要請を受け区民対象の生涯学習の場として「中央区民カレッジ」(合計6回)を前年に引き続き開催し地域の文化振興に寄与した。

(5) 東日本大震災時の状況

展覧会「三井家のおひなさま」開催中の3月11日14時45分頃、東日本大震災(東北地方太平洋沖地震)が起こり、当館でもビル全体が大きく揺れた。展示品の人形で転倒したものもあったが、雪洞1点が破損したにとどまった。施設では展示ケースの金具に軽微な損傷があった以外異常はなかった。また、館内には100名近い来館者が入場していたが、怪我人もなく無事であった。しかし、そのうちの約70名の来館者が帰宅困難となり、急遽美術館内を避難所として開放し、職員も全員泊り込みで対応し、翌日昼頃までには全員無事帰宅することができた。

D 松の茶屋保存公開事業

室町三井家三井姿子氏が逝去され、その遺言により箱根の居宅「松の茶屋」他の遺産を

三井文庫が寄贈を受けた。それに伴う、事業および定款の変更認定申請を9月17日内閣府に提出し、12月1日に内閣府より変更認定を受け、定款を一部変更した。変更認定の内容は、公益目的事業として、新たに「松の茶屋保存公開事業」を設け、寄贈を受けた「三井花桐ビル」は不動産賃貸業として、収益事業等の認定を受けた。「三井花桐ビル」の収益は、全額「松の茶屋保存公開事業」に充当される。

内閣府の変更認定に従い、松の茶屋の建物の実測・電気設備および設備関係の調査を進め、公開にむけて準備を始めた。

庶務事項

1. 理事会 開催3回

(1) 平成22年5月27日開催（定例）

場 所：東京都千代田区霞が関3丁目2番5号、霞が関ビル23階、月曜会クラブ会議室
第1号議案 平成21年度事業報告書、収支計算書、平成22年3月31日現在財産目録等決算書類承認の件

原案のとおり承認可決。

第2号議案 定時評議員会招集の件

定時評議員招集について、6月15日に開催することを原案のとおり承認可決。

第3号議案 変更認定申請承認の件

三井姿子氏からの遺贈に伴い、事業の変更及び定款の一部変更が生じた為、内閣府へ変更認定申請を提出する件について、原案を承認可決。

第4号議案 停止条件付事業の変更の件

内閣府から変更認定を受けることを停止条件として2つの事業を実施することについて、原案を承認可決。

第5号議案 定款一部変更の件

定款を一部変更する件について、原案のとおり承認可決。

第6号議案 賛助会費取扱規程案承認の件

賛助会費取扱規程案について、原案のとおり承認可決。

第7号議案 役員報酬支給額案承認の件

役員報酬支給額案について、原案のとおり承認可決。

(2) 平成22年6月15日（臨時）

場 所：東京都千代田区霞が関3丁目2番5号、霞が関ビル23階、月曜会クラブ会議室
第1号議案 代表理事・副理事長互選の件

定款第25条第2項の規定に基づき、副理事長の互選を諮ったところ、岩沙弘道理事の代表理事・副理事長選任を、原案のとおり承認可決。

(3) 平成23年3月24日（定例）

場 所：東京都千代田区霞が関3丁目2番5号、霞が関ビル23階、月曜会クラブ会議室
第1号議案 平成23年度事業計画案および収支予算案承認の件

原案のとおり承認可決。

報告事項 三井記念美術館事業概況報告

三井記念美術館の事業の概況、運営方針、展示企画の内容等について報告があった。

2. 評議員会 開催 1 回

(1) 平成22年 6 月15日 (定例)

場 所：東京都千代田区霞が関 3 丁目 2 番 5 号、霞が関ビル23階、月曜会クラブ会議室
第 1 号議案 平成21年度事業報告書、収支計算書、平成22年 3 月31日現在財産目録等決算書類承認の件

原案のとおり承認可決。

第 2 号議案 理事の補充選任について

逝去された田中順一郎副理事長の後任として、岩沙弘道氏（三井不動産(株)代表取締役社長）を理事に選任する件を諮ったところ、原案のとおり承認可決。

第 3 号議案 変更認定申請承認の件

三井姿子氏からの遺贈に伴い、事業の変更及び定款の一部変更が生じた為、内閣府へ変更認定申請を提出する件について、原案を承認可決。

第 4 号議案 停止条件付事業の変更の件

内閣府から変更認定を受けることを停止条件として2つの事業を実施することについて、原案を承認可決。

第 5 号議案 定款一部変更の件

定款を一部変更する件について、原案のとおり承認可決。

第 6 号議案 賛助会費取扱規程案承認の件

賛助会費取扱規程案について、原案のとおり承認可決。

3. 登記

平成22年 4 月 1 日 内閣府より平成22年 3 月29日付で公益財団法人としての認定書の交付を受け、公益財団法人三井文庫として登記

評議員 三井長生・石井寛治・伊藤隆・伊藤源嗣・大島剛・角井博・木村道夫・佐々木格・佐藤隆史・佐藤文夫・澤田浩・椎野公雄・鈴木正一郎・鈴木良隆・武田晴人・辻惟雄・友國八郎・中西宏幸・中村雅知・林屋晴三・古谷稔・星野二郎・前田勝之助・三宅明・宮村眞平・八木直彦・矢野恒夫

平成22年 7 月14日 理事変更登記

新 任 岩沙弘道（代表理事・副理事長）

4. 前評議員で顧問の久田宗也氏は、平成22年10月22日、逝去された。

5. 賛助費収入

(株)三井住友銀行ほか47社 242,960,000円

6. 寄付金収入

(株)三越ほか40社 12,500,000円

三井記念美術館 開館5周年 特別協賛金として。

7. 三井文庫在勤者数（平成23年3月31日現在）

文庫長（常務理事）	1名	三井記念美術館館長（理事）	1名
事務局長	1名	三井記念美術館参事	1名
研究員	3名	学芸員	3名
研究助手	1名	三井記念美術館運営部	5名
司書	2名		
事務局員	2名		
		計	20名